

## 建屋評価および機器・配管系評価における材料物性のばらつきに関する検討 の記載箇所の整理

	建屋評価*1		機器・配管系評価*1	
	地盤物性の ばらつき	建屋剛性の ばらつき	地盤物性の ばらつき	建屋剛性の ばらつき
原子炉建屋	補足-400-3	補足-400-3	補足-400-3	補足-400-3
使用済燃料乾式貯蔵建屋	補足-400-3	—*2	—*4	—*4
緊急時対策所建屋	補足-370-18	補足-370-18 (今回追加)	補足-370-18	補足-370-18
格納容器圧力逃がし装置格納槽	補足-370-17	補足-370-17 (今回追加)	補足-370-17	補足-370-17
主排気筒	補足-400-3*5	—*3	—*4	—*3
非常用ガス処理系配管支持架構	補足-400-3*5	—*3	—*4	—*3
タービン建屋	補足-370-14	—*2	/	/
サービス建屋	補足-370-15	—*2	/	/

注記 \*1：軟質岩盤に立地しているため、建屋剛性のばらつきによる建屋応答への感度は地盤物性のばらつきによる感度に比べて小さいことから建屋剛性と地盤物性のばらつきの重畳ケースは考慮しないこととする（補足-400-3 4章に記載。）。ただし、原子炉建屋の二次格納施設を構成する鉄骨造の屋根トラスについては、念のため影響を確認することとする（補足-400-3 別紙4に記載。）。

\*2：耐震重要施設である原子炉建屋を代表として検討を実施し、建屋剛性の影響が建屋の応答に与える影響が小さいことを確認している（補足-400-3 4章に記載。）。

\*3：鋼材でありばらつきが小さいため検討を行わないこととする。

\*4：設計上ばらつきを考慮している（補足340-13 3章に記載。）。

\*5：オイルダンパの減衰係数および弾塑性ダンパの降伏点のばらつきを考慮する（補足-400-3 2章に記載。）。

図書リスト：

補足-400-3 地震応答解析における材料物性のばらつきに関する検討

補足-370-14 タービン建屋の耐震性評価に関する補足説明

補足-370-15 サービス建屋の耐震性評価に関する補足説明

補足-370-17 格納容器圧力逃がし装置格納槽の耐震性評価に関する補足

補足-370-18 緊急時対策所建屋の耐震性評価に関する補足説明

補足-340-13 機電分耐震計算書の補足について